

第4期四谷地区協議会会議録

分科会名	第3分科会	開催回	第3回
開催日	平成 24年6月 27日(水) 14:00～16:00		
出席者	区民	4名	職員 出張所職員2名
主な協議の テーマ	1 「町の落書き消し」活動について 2 5月の活動の振り返り		
会議内容 主な意見	<p>1 「町の落書き消し」活動について</p> <p>(1) 四谷530デーでの取組の振り返り(資料参考)</p> <p>四谷警察署少年係、危機管理課、四谷一丁目町会、四谷二丁目町会と合同で、ゴミゼロデー当日に、四谷一丁目大横町T字交差点の街路灯落書きけしを行った。柑橘系の溶剤を使用した。思った以上にきれいに落とすことができた。</p> <p>ほか、ポストにも落書きがあったが、試しに行ったところ赤いポストの舗装がはげてしまうのでやめた。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin: 10px 0;">落書き消しで重要だとわかったこと</div> <ul style="list-style-type: none"> ・まず試して消してみ、状況を確認することが大切である。 ・今回は、街路灯が国の所有だったため、第三建設事務所に警察が確認して許可を得た。所有者の許可を得ることが大切である。 ・落書きが放置されていることは、割れ窓の理論からよくない。 ・今回は中学生の参加を予定していたが、結局参加できなかつたため、町会で取り組んだ。若い世代の落書きが多いので、今後は一緒に取り込んでいくことが大切であると四谷警察署の方も話していた。 <p>(2) 新宿区取組事例について(新宿区危機管理課 田元主査)</p> <p>※当日配布資料 「新宿区 安全・安心まちづくり」冊子</p> <p>警視庁から区に派遣で来ている。業務は、落書きけしをはじめ、防犯関係の仕事で、新宿区の犯罪を1件でも少なくしていこうという取組みを行っている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●落書きけしに関する区取組み <ul style="list-style-type: none"> ・落書き消去剤(スプレー式)の貸し出し ・柏木ほか地区協議会の取組み紹介 ・田元主査も、今回の四谷の活動はじめ、各活動に参加し落書き消しを行っている。 ●警察の取組み <ul style="list-style-type: none"> ・落書きは、スプレー等をふところにかくすと見つからない。器物損壊になるが、現行犯逮捕は難しく、取り締まりにも苦慮している。 ●現場で気付いた点、落書き消しを行う場合の諸注意 <ul style="list-style-type: none"> ・準備するもの：落書きけし(消去剤) ・他者の所有物件は不可。責任持てる場所を消すこと。 ・ポストは、管轄する郵便局に確認する必要がある。 		

- ・隣の塀を親切心から消そうとすると、不法侵入などトラブルになってしまう可能性がある。事前の確認、承諾が必要。
- ・承諾をもらった場合でも、必ずしもすべてが消えるわけでないことも、通知しておくこと大切である。
- ・スプレーは汚れを浮かせて落とす。
- ・スプレーの溶剤がたれてくるので、古い布でふき取る。布は溶剤が付着しているので捨てる。
- ・年数たったもの、凹凸あるものはなかなか落ちない。古い歯ブラシなど利用するとよく落ちる。
- ・スプレーした箇所にサランラップをまきつけると、溶剤がよくしみこむ。
- ・落書き消去を行う側としての諸注意。
服装：汚れてもいい服装。マスク着用。
周囲への配慮：風があるとき、周囲のものにかかることがあるので、どける等の配慮が必要。
- ・電柱、道路などは所有者に連絡している。
- ・必ずテストすることが必要。家庭の壁など、後から色を塗ってあるものは剥げてしまうことがある。直射日光で劣化したものも多い。
- ・小、中学生含め地域で一丸となって取り組みしている事例もある。
- ・落書きは自己顕示欲の表れで、人の多い所、交通量の多い所にあることが多いので、事故に注意。
- ・落書き消しは、いたちごっこ。自己顕示欲の表れなので、すぐに消されてしまうことがわかれば、排除できる。
- ・大ガード下、壁画の落書きけし等、警視庁と都の予算からめてやっていく活動が生まれている。柏木地区は、事前に落書きの箇所を把握し、近隣の承諾を得て行っている。活動を行う場合は、相談を。

(質疑、要望)

委員：自分の町会は、掲示板に落書きされている。

今までは外側。アクリル板の扉がついているので、その中に落書きされている。掲示板が画板になっている。

危機管理課：画板は落ちない。1年前、ほかの町会でもやったが落ちなかった。

委員：やわらかいので浸透してしまう。ポスターを貼ってかくす。

危機管理課：色を塗ってしまうといいものもある。凹凸あるもの、ゴムには消去剤では弱い。表面がつるつるしているのには強い。また、特殊なスプレーを使っている場合は落ちない。

委員：材質等聞くだけでよいのか。

危機管理課：写真など送っていただき、実際見ると判断しやすい。

委員：あまりに落書きが多いと、材質を変えてもらうことを提案できるか。

委員：掲示板の扉に鍵がない。業者にたのむと鍵をつけてもらえるが、鍵をつけると値段が高くなる。

委員：新宿御苑前駅の区民センター案内の掲示板に落書きあったが、消えていた。
落書きけしの溶剤は強いシンナーではなく、塗料のうすめ液を使っていると自
転車対策で聞いた。

危機管理課：除光液等シンナー臭がある。

「消せるくん」（危機管理課で貸し出している溶剤）は NHKでも取り
扱われた。においも少なく、人体に影響がないものを重視している。都、
警察も使っている。市販のものはシンナーのものもある。値段はかなり高
額である。

委員：町会掲示板の修理（落書きの場合など）は町連で周知したほうがよい。

委員：破損の場合、破損させた相手がわかっている場合は相手に負担させるべきだ。
委託掲示板等、修理を要するときの方法、手段を周知するべき。

委員：周知活動は必要だ。掲示板をどうすればよいのか。落書きされた場合の手順。
掲示板の裏側に書かれているものも多い。車道側からみると良く見える。

委員：四谷四丁目交差点 夜は警察がいなくなる。落書きされやすい。シールが貼っ
てあったものもある。

委員：これから、一定のルールに基づき消していく。

手順として、まず管理者に通報していく。すぐに対処できない場合、自分たち
で取り組んでいく必要があるが、まずは通報、公共物は自己責任でやっていた
だく。その仕組み作りが必要。次に、定期的に巡回しアクションを起こす。課
題が多いが、その年々で取り上げて活動していく。

落書きけしは、啓発活動から始める。町会などに、地区協議会から発信。手
順等説明。小、中学校で活動写真を貼ってもらい、活動を知ってもらうことも
良い。学校の先生にとって、落書きけしの活動は器物破損の心配や、体への影
響を懸念してしまう。トラブルを心配している。子どもたちへの啓発と同時に、
学校にアクションを起こす。ごみゼロデーでの取組みを、学校に貼り出しして
もらうことなども検討していく。

委員：ガードレールなど、区道・都道・国道かわからない時がある。

危機管理課：管理しているのがどこか、まずは確認するところから始める。

情報提供：落書き防止塗料があるが、電柱など東電がすべてやっている
わけではない。落書き防止塗料は高いので、普及は難しい。その塗料を
塗っていると、落書きがのらない。壁画も書けなくなる。

●まとめ

今後の活動について

①四谷地区町会連合会を通じて、掲示板管理者に通知する仕組みを周知する。

今後の手順：地区協議会発信で、掲示板の落書きについて、管理者に通報するこ
とを徹底すると同時に、啓発活動を行う。まちの落書きを減らすため、地区協議会
の活動として、呼びかけを行う。

※壁・塀は個人で対処しているが、公共物の落書きが放置されている例が多い。

②秋のごみゼロデーで落書きけしに取り組む。中学生に周知させる。

2 5月の活動の振り返り

①「内藤とうがらし」プロジェクトについて

●配付結果報告（報告書参照）

●今後の活動についての意見交換（活動三年目を迎えて）

苗の配布のみ、来年度も続けていってはどうか。（実費配布）

ここまで地域に浸透してきた。皆の負担にならなければ、続けていきたい。

→委員賛同

●内藤とうがらし通信（当日配布資料 参照）

商店街の店先で育ててくれている方々に配布予定。商店街へ配布した苗は、地区協議会の活動とは別配布だが、協議会の周知活動のためラベルは提供している。

今回も、その一環である。

②花いっぱい運動について（前期収支報告書参照）

会計報告のとおり。

③まち美化活動・・・四谷大通り一斉清掃について

四谷警察署少年係も話をしたところ、一緒に取り組んだ。

当日は実際300名くらいの参加があったと思われる。

また、今回は四谷警察署に「道路使用許可」を事前に提出した。お祭りなど、人が多く集まる場合は出しているの、今後も配慮が必要である。

3 その他

●役員会（6月20日）報告

・声7号掲載希望案の有無→事務局一任

・「四谷のちらし」の提案について（詳細、役員会議事録参照）

【委員意見】

・沢山チラシがあると、注目度が低くなるのでは。

・個別のチラシだと関心のあるものは持っていくが、情報量多すぎると見なくなる。たばをわたすことは無駄になってしまうことが心配される。

・各団体から人を出して、集約作業を行うことは、皆、自分の活動でいっぱいなので難しいのではないか。

・インターネットが発達し、チラシ見ない人が多いのではないか。

・ヘッドラインダイジェストをページのはじめに挟み込んでどうか。

●区長トーク 7月6日(金) テーマ「地域の防災、減災について」周知

次回日程

開催日 9月7日(金) 14時～ 四谷特別出張所 会議室